

「確かな学力」を育てる学習活動の研究 ～言語活動を取り入れ、「考える力」を高める学習指導の工夫～

I 研究の内容

1 研究仮説

言語活動を取り入れ、「考える力」を高める学習指導の工夫をすれば、思考力・判断力・表現力が高まり「確かな学力」が育まれるだろう。

2 研究の具体的内容

「伝える」から「伝え合う」に高めるための手立てについて

- ①「言語活動」をどのようにとらえるのか、共通理解を深め、教科の特質を活かした指導計画への「言語活動」の位置づけ、授業過程の工夫を講じる。
- ②言語活動の基礎となる国語の力を授業の中でつけていく。
- ③論理的思考力を更に育む手だてとして、「読み取って考える力」に焦点を当てる。「叙述に即して読む」「読み取ったことをもとに考える」「自分の考えをもつ」という一連の学習活動が充実するように、学習指導を工夫する。読み取りや、考えの深まりは、表現することによって初めて形となるため、「書く活動」と連動させ、理解と表現の一体化を図っていく。

3 研究方法

- (1) 児童の実態調査や指導法の工夫など理論研究や実践研究
- (2) 授業研究（研究の成果を実証するために、3回の検証授業を行なう）
- (3) 「1人1実践」の公開授業
- (4) 特別支援教育の学習会
- (5) 今日的教育課題関連の学習会（外国語活動）

II 成果と課題

1 成果

- (1) 各教科の特性をふまえながら言語活動を取り入れたことで、子どもたちの考える力が高まった。
- (2) 各教科における言語活動について共通理解が図れた。
- (3) 研究授業後の研究討議でグループごとのKJ法が有効に活用され校内研の活性化が図られた。

2 課題

- (1) 仮説をより具体化し、児童がどのような状況になれば高まったと言えるのかという見取りの方法を明確にする。
- (2) 個人差に応じた支援の工夫。
- (3) 話すことや書くことに苦手意識をもっている子たちの底上げ。
- (4) 言語活動を通して何を学ぶのか、また何を教えるのか、ねらいを明確にしていく。

Ⅲ 成果物

1 全体／部会研究授業指導案（ワークシート等も含む）

(1) 低学年部会

2年 国語(書くこと)「音やようすをあらわすことば」川手育愛教諭

(2) 中学年部会

4年 理科 「もののあたたまりかた」 日原英二教諭

(3) 高学年部会

5年 算数 「比べ方を考えよう」 中村亮二教諭

2 授業公開指導案（一人一実践）

- ・ 1年 国語 どんなどうぶつがでてくるかな（読書指導） 保坂千恵子教諭
- ・ 1年 国語 ことばであそぼう（ブックトーク） 山宮由紀教諭
- ・ 1年 国語 しらせたいな、みせたいな 那須美佳先生
- ・ 2年 国語 お手紙 渡邊祥子教諭
- ・ 2年 学活 話し合いタイムをしよう 廣瀬 剛教諭
- ・ 3年 道徳 あきらめずに最後までがんばる 小林光三教諭
- ・ 3年 国語 ちいちゃんのかげおくり 日原香織教諭
- ・ 3年 英語 好きなものを教えて 佐野加奈恵教諭
- ・ 4年 算数 広さをしらべよう 向山 潤教諭
- ・ 4年 理科 暑くなると 雨宮義仁教諭
- ・ 5年 道徳 世界の子どもたちの事情について考える 的場泰子教諭
- ・ 5年 音楽 まとまりのあるわたしのメロディをつくってみよう 藤原和美教諭
- ・ 6年 社会 新しい日本の国を考えよう 植原 彰教諭
- ・ 6年 国語 言葉っておもしろな 野沢浩一教諭
- ・ たんぽぽ学級 国語 反対の意味の言葉 水上久美子教諭
- ・ けやき学級 生活単元 パネルシアターの発表会をしよう 相澤京子教諭
那口真知子教諭
- ・ わかば学級 体育 ボール運動に挑戦しよう 窪川純一朗教諭

(研究主任 渡邊祥子)